

第138回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
有価証券	他店商品券	消耗品	仮払金
備品	支払手形	買掛金	未払金
商品券	借入金	当座借越	仮受金
備品減価償却累計額	資本金	売上	固定資産売却益
雑益	発送費	支払手数料	租税公課
消耗品費	減価償却費	手形売却損	固定資産売却損

1. 額面総額 ¥ 3,000,000 の小久保タックスマネジメント株式会社の社債を、額面 ¥ 100 につき ¥ 96.50 で購入した。代金は月末に支払うこととし、未払いとして処理した。
2. 平成 23 年 8 月 1 日に取得した業務用コピー機（取得原価：¥ 300,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：5 年、減価償却の計算方法：定額法、記帳方法：間接法）を、平成 26 年 5 月 31 日に ¥ 100,000 で売却し、売却代金は現金で受け取った。なお、当店の決算日は 3 月 31 日であり、取得年度および売却年度の減価償却費については月割計算による。
3. 大谷商店は、得意先藤浪商店より受け取った約束手形 ¥ 400,000 をメインバンクで割引引き、利息相当額が差し引かれた残額を当座預金とした。なお、利息相当額については年利率 3.65%、割引日数 20 日（1 年は 365 日）で計算する。
4. 前田商店に商品 ¥ 500,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 300,000 については金子商店振出し、同店受取りの約束手形を裏書譲渡され、残額については掛けとした。なお、運送会社に小切手で支払った運賃 ¥ 8,000 は当店と前田商店で半額ずつ負担することになっており、前田商店負担分については売掛金で処理する。
5. 日本侍百貨店は、中田商店に商品 ¥ 180,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 150,000 は他社発行のデパート商品券で受け取り、残額は当社発行の商品券で受け取った。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額		
1	有価証券	2,895,000	未払金	2,895,000		
2	減価償却費	10,000	備品	300,000		
	備品減価償却累計額	160,000				
	現金	100,000				
	固定資産売却損	30,000				
別解	減価償却費	10,000	備品減価償却累計額	10,000		
	備品減価償却累計額	170,000			備品	300,000
	現金	100,000				
	固定資産売却損	30,000				
3	当座預金	399,200	受取手形	400,000		
	手形売却損	800				
4	受取手形	300,000	売上	500,000		
	売掛金	204,000			当座預金	8,000
	発送費	4,000				
5	他店商品券	150,000	売上	180,000		
	商品券	30,000				